

議 事 概 要 書

会議名称	第2回伊那市生涯学習基本構想審議会
日 時	令和2年10月12日（月）午後1時30分から午後3時15分まで
場 所	伊那市役所 501会議室
出席者	生涯学習基本構想審議会委員10名（欠席なし） 事務局：教育長、教育次長、生涯学習課長、生涯学習・文化財係長、担当
議 題	下記のとおり
議 事 内 容	
<p>1 開会（教育次長）</p> <p>2 あいさつ</p> <p>教育長：最近新聞、テレビで多く見かけるのが、1年前の台風19号の被害、そこから1年経ったという内容である。伊那市でも東の方は北沢峠で三六災害を上回る被害があったということ、西では国道361号崩落で権兵衛トンネルが不通になった。多くの方の御尽力により、先日ようやく双方向通行可能になった。河川の護岸工事はまだ半ばということで、1日も早い復旧を願うところである。</p> <p>本日は第2回目の審議会ということでお集まりいただき感謝申し上げます。市では、昨年度から第2次伊那市総合計画に基づきまちづくりに取り組んでいるところである。視野を広げて大きな言い方をすれば、脱二酸化炭素社会、あるいはSDGsといった社会像の定着が進んでいる。一方で、市民の皆さんあるいは子どもたちへの学びへの願いが変わってきている。こういったところを踏まえながら、将来にわたっての生涯学習基本構想をまとめていきたいと願うところである。皆様のお力添えをお願いしたい。本日は大きいところ、また具体的な事例にも触れ、意見をいただきながら大枠が固まっていけばと願うところである。</p> <p>会長：教育長の話にもあったように、台風19号からちょうど1年ということで、いろいろ報道されている。先日の台風14号はなんとかこちらへの影響がなく、特に果樹園関係の方を中心にほっとしていると思う。</p> <p>事務局で中学生も含めたアンケートを実施していただいて、これをまとめ、推進委員会で原案作りを短い期間にさせていただいた。感謝申し上げます。アンケートの結果を見させていただくと、「どこで何をやっているのか分からない」とか「参加できるきっかけがつかめない」といったことがいくつか書かれていて、そういうこともあるんだなあと改めて見させていただいた。それから、逆に学ぶことを皆さん求めているんだなあと感じた。今日は短時間ですが審議会の皆さんに忌憚のない意見をいただいて、よりよい基本構想にしていきたいと考えているので御協力のほどよろしくをお願いしたい。</p> <p>3 会議事項（会長進行）</p> <p>（1）第2次伊那市生涯学習基本構想策定経過について 資料に基づき、事務局説明</p>	

○これまでの経過

○生涯学習に関する市民、中学生意識調査の結果報告

<質疑>

委員：長野県は小学校5年生・中学校2年生の体力が非常に落ちていると何年か続いて報告されている。なぜ小5と中2が極端に全国レベルの下の方に位置しているのか不思議に思っている。ところが、中学生アンケートの報告書を見て、かなりの生徒がスポーツ活動をしたい、スポーツ活動を基準にして学習活動を進めていきたいという意見を見て嬉しく思った。県が体育授業を取り入れるようということをやってきて、それが反映されてきたいるのかと思うがいかがか。

事務局：基本構想原案で「スポーツをやる人とやらない人の二極化が進んでいる」と課題にも挙げている。また、後程施策の方向のところの説明させていただく。

(2) 第2次伊那市生涯学習基本構想審議会案の策定について

資料に基づき、事務局説明

○生涯学習推進委員会作成原案

<質疑>

委員：P4「(1)人口減少及び少子高齢社会の進行」について 具体例が省かれている。意図は分かるが輪郭が見えにくい。きれいにまとまっているが、少子高齢社会に対してどんな課題があってどうなのかというところがなく、リアリティに欠ける。

事務局：本市を取り巻く状況を、総合計画を取り入れ大きくとらえてこれらの項目とした。内容については検討する。

委員：P8「意識調査(3)結果概要」で「青少年期の学習活動への関心を高める必要がある」とあるが、果たして本当にそうなのか。中学生は学校生活や部活動で余裕は無いのではないか。ヨーロッパは午前が学校で午後は地域やクラブ、趣味などで学習活動がなされるが、日本は1日中学校で過ごしている。この状況で更に生涯学習活動へ関心を高めるのは難しいと思うので、この部分は一考をお願いしたい。

事務局：検討する。

委員：P23「ノーマライゼーション」や「バリアフリー」といった言葉は、今はあまり使われず「ソーシャルインクルージョン」(社会的包摂：社会的に弱い立場にある人々をも含め、市民一人一人、排除や摩擦。孤立から援護し、社会の一員として取り込み、支え合う考え方)という。「性的少数者」や「SDGs」など新しい言葉が入ってきて進めてくのであれば、「すべての」ということで、言葉を変えてほしい。

事務局：SDGsなどは総合計画でも記載されている。検討する。

委員：P27「○地区分館には」の「地区分館」という表現は高遠町だけである。ここは「公民館分館」と揃えた方がよい。

委員：P31「○長野県の提唱する「信州型コミュニティ・スクール創造事業」では・・・」について、入れていただきありがたい。「運営委員会を組織化することが求められている」とあるが、既に組織化されているので「仕組みを整え、学校や地域の実情に合わせて活動してい

ます」としてはどうか。また、P 3 2 「●・・・地域との連携による・・・」を「地域との連携・協働による」としてはどうか。信州型コミュニティスクール事業は、創造事業から平成27年度に推進事業、平成30年度からは促進事業となっている。

事務局：担当課に確認し、修正する。

委員：P 3 5 公民館の「未就園児子育て講座」は、「子どもの居場所づくり」として行っているのではなく、どちらかというとP 3 2からの「家庭の教育力向上」を目的としているので、項目の変更をお願いしたい。

事務局：修正する。

委員：P 5 3 「●市民芸術文化祭など発表の機会を設け」とあるが、(生涯学習センターは)17年目で発表の機会は既にあるので「機会を通じて」でどうか。一般の市民の方は参加料がいるが、学校は無料で参加できる。ほかに「ゆめわーく(障害者多機能事業所)」なども利用している。

事務局：修正する。

委員：P 5 6 「●生涯学習センター、防災コミュニティセンターや創造館などの・・・」とあるが、防災コミュニティセンターは本来の目的を考えると、違和感がある。検討を。

委員：全体を通して、市高齢者クラブ連合会では友達・生きがい・健康づくりに取り組んでいる。なお一層の推進を是非お願いしたい。

教育長：こうした機会に皆さんそれぞれの立場でお気づきのことを言ってもらい、よい内容の意見交換ができた。特に人権にかかわる部分、一つの言葉をどう見るか捉えるか、そこに自分の感覚が映し出される部分があり、多くの方の目で見えただき調整をしていくのが大事だと改めて思った。次回に向けて是非ご意見をいただきたい。

(3) 今後の日程について

原案についてお気づきの点があったら、10月20日までに事務局へ提出をお願いしたい。細かいところでもいいので、気軽に出してほしい。

(4) その他

次回：令和3年1月27日(水)

今回は最終案を提示し、答申案のまとめをお願いする。

4 その他

5 閉会(副会長)